



《1》 仙台市場の使命・課題

➤ 海岸の被災地は 昔から仙台市場の重要な野菜産地

➤ 産地復興の課題

①塩害・放射能汚染の対策

②生産者のモチベーション

③資金繰り

④輸入野菜が増え 野菜の単価低迷

⑤農家の高齢化・後継者不足

⑥総人口減少 & 老年人口増加 = 消費減少

《2》 菜の花プロジェクトに賛同



➤ 菜の花＝鑑賞・蜂蜜・食用

➤ 菜種＝食用油・蠟燭・BDF

➤ 菜種絞りカス＝肥料

菜の花Pの課題

再生産システム・組織的運営を
どう確立するか

産官学共同

- 生産者・作業員
- 圃場・加工場・収穫機器・加工機器
- 安定的販売ルート

《3》 復興に向け動き出した 土地集約型・企業的農家経営

➤ 絆で結ばれた 生産者

- ・ 大半の生産者は自分が一番
- ・ 組織プレーに大きな壁

➤ 支援を受けた大規模な園芸施設

- ・ 初期投資が少額でも、毎年の減価償却はかなりの負担
- ・ 現状の レベルでは十分な農産物が懸念
- ・ 農産物の販売ルートは支援だけに頼れない

消費地のマーケットが変わる

健康志向

日本の総人口と老年人口



健康 = 根菜パワー = 加熱

- 人参を加熱してカロチンを引き出そう！
- ゴボウの皮目には香り・旨味がたっぷり！

皮目のポリフェノールを剥ぎ取っちゃNG

- さつま芋の澱粉でエネルギー補給
- ジャガイモには加熱しても壊れにくいビタミンC

カロリー少なく太り過ぎにはなりません

➤ 戦前のカボチャは主食の

代用食材

戦後は美味しい輸入カボチャで

メインディッシュ

水 と 加熱料理、蒸し野菜

➤ 綺麗な水で作られた野菜は

 蒸し器

栄養分も水分も大事に

➤ 水に自信がもてない時は

 フライパン・中華鍋

水分をとばして



被災農地に根菜作付け

- ポイント① 健康＝野菜を誰でも知っている
- ポイント② TPP論争でアレっ国産野菜は枠外！
- ポイント③ 被災農地の復興工事は水田だけ？
- ポイント④ 年間300万tの野菜が輸入

根菜作付けにあたって

- ・ 畑地集約、水はけ対策 《単なる水田転作はNG》
- ・ 播種、肥培管理、収穫を作業分担 〈好例 十勝の人参〉
- ・ 施設等の初期投資、減価償却は少ない
- ・ 適期適作、適地適作 《産官学のきょうりょく》